

地域包括ケアシステムにおける助け合い活動

【大船渡市】地域包括ケア推進本部

(関係する施策を総合的に推進)

相互に連携

【大船渡市が設置】  
大船渡市地域  
助け合い協議会

(市全域での取り組みや  
課題を協議)

【地区が自主的に設置】  
地区版の地域  
助け合い協議会

(盛地区から吉浜地区までの  
11地区全てに設置され、地区  
ごとに助け合い活動を実践)



【サポート】助け合い協議会の活動を支援

- ・公益財団法人さわやか福祉財団
- ・NPO法人大船渡共生まちづくりの会
- ・NPO法人おおふなと市民活動センター

公益財団法人さわやか福祉財団

- ・東京都に本部があり、本市の地域包括ケアシステムの構築を支援しています。
- ・平成28年1月20日に本市との間で「新しい地域支援の仕組みづくりに係る包括的連携協定」を締結しました。
- ・さわやかインストラクターが定期的に本市を訪問し、活動をサポートしています。

NPO法人おおふなと市民活動センター

- ・盛町のサン・リア内に事務所があります。
- ・社会課題の解決、地域を担う人材育成などを目的とする団体です。

NPO法人大船渡共生まちづくりの会

- ・日頃市町内に事務所があります。
- ・地域の住民同士が助け合い、安心して暮らせるまちづくりなどを目的とする団体です。



蛸ノ浦地区で早朝に行われている「そよかぜ健康体操」

助け合い活動

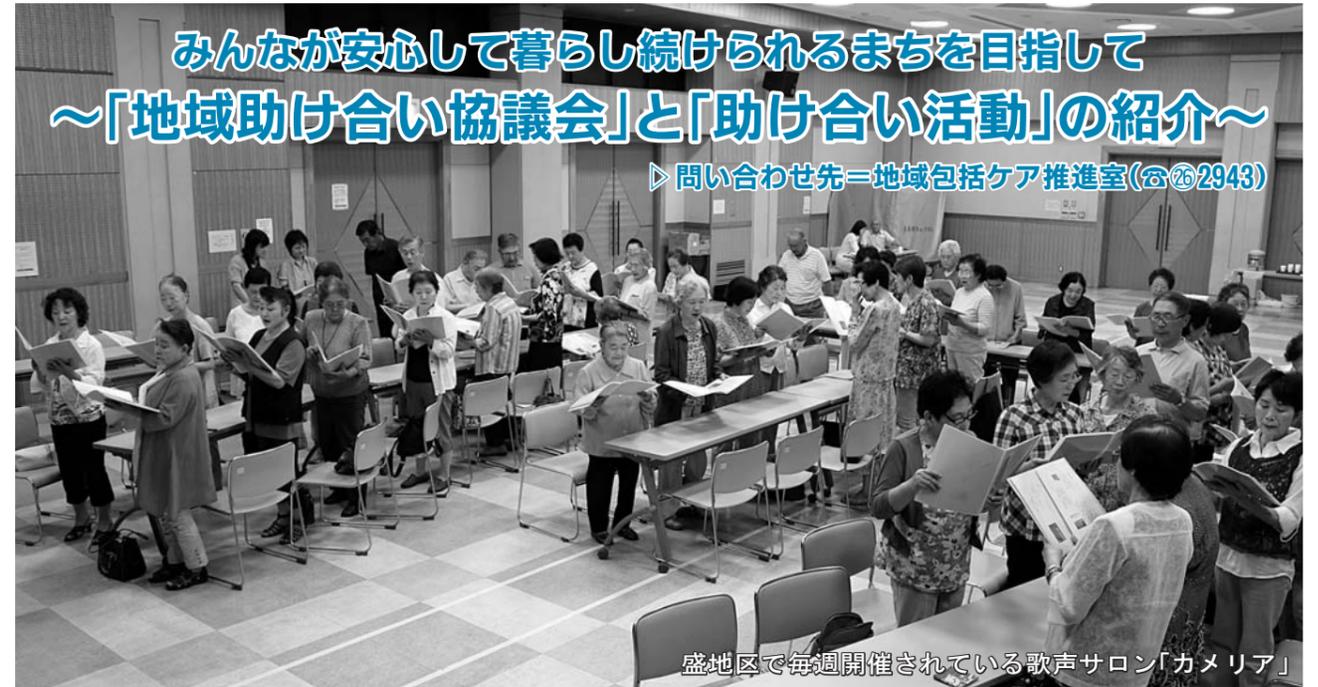
助け合い活動は、「困ったときは お互いさま」の気持ちで行う地域づくりです。地域の「集いの場」では、高齢者が健康体操、囲碁・将棋手芸などで仲間と楽しい時間を過ごすことができ、この活動が高齢者の介護予防に効果があります。

1人暮らしや支援を必要とする高齢者については、「助け合い」の精神で住民が相互に見守ることが大切で、ごみ出しなどの生活支援に向けた取り組みの準備が進められています。これらの活動は各地区の協議会の生活支援コーディネーターが調整役となり、進められています。

さらに市は、公益財団法人さわやか福祉財団、NPO法人大船渡共生まちづくりの会、NPO法人おおふなと市民活動センターから、事業推進にあたり協力をいただいております。「地域力」を生かした地域の主体的な活動を支援することも含めて、市民の皆さんが安心して暮らし続けられるまちづくりを推進します。

みんなが安心して暮らし続けられるまちを目指して  
～「地域助け合い協議会」と「助け合い活動」の紹介～

▶ 問い合わせ先＝地域包括ケア推進室(☎2943)



盛地区で毎週開催されている歌声サロン「カメラ」

本市の高齢化の状況

平成31年3月末日現在、本市の高齢化率は36・8%で、全国平均の28・3%、岩手県平均の32・7%を上回っています。

今後、本市の総人口は減少傾向で推移するのに対し、65歳以上の高齢者の割合は年々増加し、団塊の世代が75歳以上になる令和7年度には高齢化率が38・7%になると見込まれます。

その後、75歳以上の人口は減少するものの、支え手となる若い世代の人口減少が急激に進み、一方では要介護認定

人口の減少と少子高齢化の進行への的確な対応が全国的な課題となる中、高齢者の皆さんが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを送るためには、地域内でサポートし合う「地域包括ケアシステム」の構築が求められています。

市では、関係機関と連携して医療・介護・介護予防・生活支援の各種サービスを提供していますが、このほか住民の皆さんの「理解と協力」により、「地域の力」を生かして高齢者を支える「助け合い活動」に力を入れて取り組んでいく必要があります。

本号では、各地区に設立された「地域助け合い協議会」と「助け合い活動」について紹介します。

地域包括  
ケアシステム

高齢化の進行に対応するため、介護保険制度では、令和7年度に向けて「地域包括ケアシステム」の構築を目指しています。

このシステムは、高齢者が住み慣れた地域で暮らすことができるよう、専門職員による在宅での医療・介護サービスを確保し、地域に高齢者が参加できる集いの場(歌声サ

を受ける人は増え続け、介護保険サービスの需要は引き続き増加すると見込まれます。

※高齢化率＝総人口に対する65歳以上の高齢者の割合

地域助け合い  
協議会とは

この活動を推進する組織には、市が設置した「地域助け合い協議会」と、各地区に設立された「地区版の地域助け合い協議会」があります。

「地域助け合い協議会」は、平成27年4月に各地区のまちづくり推進員、社会福祉協議会などの公共的団体、行政機関、介護事業者などの28人で組織され、市全体で取り組む事項や課題などを協議しています。

「地区版の地域助け合い協議会」は、市内11地区に設立され、地域公民館長などが構成員となっています。

平成27年12月の蛸ノ浦地区を皮切りに、平成31年4月には11地区全てに協議会が設立されました。

各地区の協議会では、地域の実情に応じた助け合い活動が実践されています。

ロン、お茶飲み会など)をつくり、さらには住民が協力して1人暮らしの高齢者を見守るなど、みんなで助け合う地域づくりです。